

令和4年度  
川崎市立中学校  
学習状況調査 報告 概要

## ◎ 調査の概要

### 1 調査の目的

学習指導要領に示されている各教科（国語・社会・数学・理科・英語）の目標および内容の基礎的・基本的な「知識及び技能」、「思考力，判断力，表現力等」について学習したものが、いかに生徒に定着しているかを全市一斉に学年ごとの同一の問題によって調査する。そして、その結果を診断し、今後の学習指導の改善に役立たせる。また、生徒自らが学習状況や学習課題の把握ができるようにする。

### 2 調査の内容

○国語・社会・数学・理科・英語

調査の目的に基づき、学習指導要領に示されている各教科の目標及び内容の基礎的・基本的な事項について、各教科の出題範囲に基づいて、全学年を対象とする調査を実施した。

○学習意識調査（生活や学習についてのアンケート）

生徒の生活や学習に対する意識等について明らかにするために、第2学年の生徒を対象とする調査を実施した。

### 3 調査の対象

市内全市立中学校の全学年の生徒

### 4 調査実施日及び調査実施人数

(1) 調査実施日

令和4年11月8日（火）

(2) 調査対象人数

中学校 第1学年 9,911 人

中学校 第2学年 9,862 人

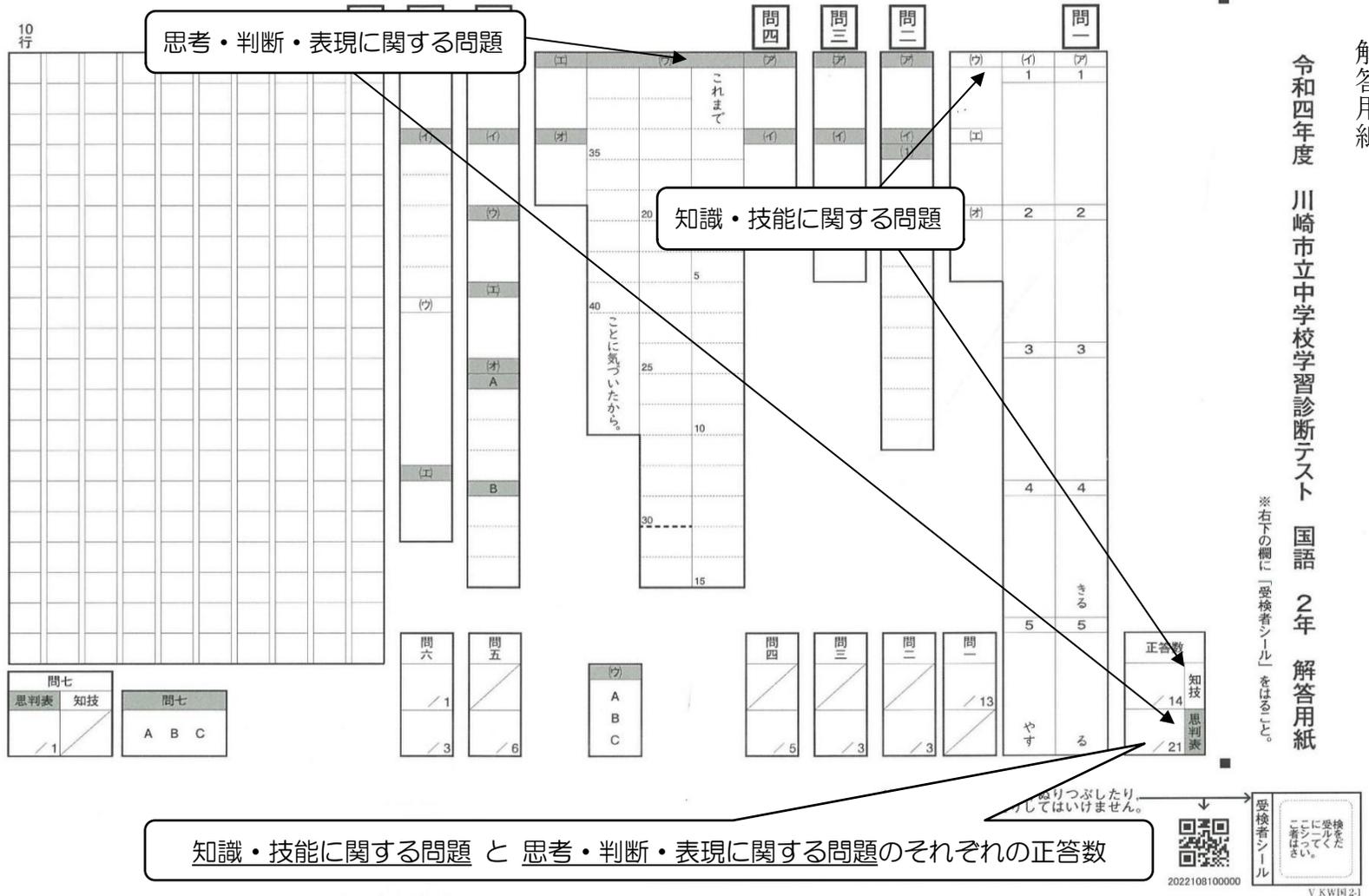
中学校 第3学年 10,183 人

※第1学年及び第3学年については、川崎市立中学校学習診断テストとして教科調査のみを実施している。

## 5 調査の方法

○国語・社会・数学・理科・英語

各教科の問題は、知識・技能に関する問題と思考・判断・表現に関する問題について出題し、それぞれについて分析を行った。



## II 調査結果の概要

### 平均正答率

	国 語	社 会	数 学	理 科	英 語
知識・技能	75.7%	57.8%	59.7%	54.7%	58.5%
思考・判断・表現	67.0%	49.4%	37.6%	47.1%	28.4%
全設問	70.6%	56.5%	47.1%	51.1%	42.9%

### 主な分析結果（課題等）

○定着していると考えられる内容 ●課題があると考えられる内容  
 ( ) 内は問題の分類

#### 国 語

- 既習の漢字を正しく読むこと（知・技）
  - 文章を的確に読み取り、条件を満たして記述すること（思・判・表）
  - グラフを的確に読み取り、条件を満たして文章を書くこと（思・判・表）
- #### 社 会
- 資料を適切に読み取り、生活経験と結び付く事象を理解すること  
(知・技)
  - 歴史的分野で「文化」や「社会」に関する事象を理解すること（知・技）
  - 複数の社会的事象を比較したり関連付けたりして考察すること  
(思・判・表)

#### 数 学

- 図や表から規則性を見だし、値を求めること（知・技）
- 与えられた情報をもとに、数学的に表現すること（思・判・表）
- 数量の関係から具体的な事象を捉えること（思・判・表）

#### 理 科

- 静電気について実験結果と関連付けながら理解すること（知・技）
- 密度や質量パーセント濃度を求めるための立式をすること（知・技）
- 実験結果や与えられた資料を分析して解釈すること（思・判・表）

#### 英 語

- 場面に合った適切な応答を選択すること（知・技）
- 短い会話文を聞き、その会話に続く応答として適切な文章を選択すること  
(知・技)
- まとまった長い英文を聞き、話の概要を理解すること（思・判・表）

#### 各教科に共通

- 個々の知識を理解したり、技能を身に付けたりすること
- 複数の資料や与えられた条件を関連付けて考察したり表現したりすること

◎ 各教科に共通する課題

(例) 社会

複数の資料を読み取り、比較したり関連付けたりして考察する

○出題のねらい (問4 (ウ))

田沼の政治と寛政の改革について複数の資料を読み取り考察しているかを見る。

問 4 「経済の成長と幕政の改革」について、ひかりさんのノートをみて、つぎの(ウ)の問いに答えなさい。

ひかりさんのノート

**経済の成長と幕政の改革**

徳川綱吉と新井白石の政治

- 5代将軍の徳川綱吉が、質の悪い貨幣を大量に発行した。
- ↓
- 物価が上昇し、人々の生活が苦しくなった。
- ↓
- 6代・7代将軍のときに重く用いられた新井白石は、貨幣の質をもとにもどした。

---

享保の改革(8代将軍の徳川吉宗がおこなった。)

- 徳川家康の政治を理想とし、政治と財政の立て直しに取り組んだ。
- ↓
- 幕府経済は一時的に立ち直った。

---

田沼の政治と寛政の改革

- 老中の田沼意次が、商工業者の **A** を増やして営業税を徴収した。
- ↓
- 特権や地位を求めるわいろが盛んになり、政治の乱れに批判が強まった。
- ↓
- 田沼意次のあとに老中となった松平定信が、質素・儉約をすすめる寛政の改革をおこなった。
- ↓
- 風紀の厳しい取りしまりに人々の不満が高まった。

---

天保の改革

- 老中の水野忠邦が **A** を解散させるなどの天保の改革をおこなった。
- ↓
- 改革は2年で行きづまり、水野忠邦は老中を辞めさせられた。

(ウ) つぎの資料Ⅳ・Ⅴは、下線③がおこなわれたころによまれた短歌である。説明文中の **X** ~ **Z** にあてはまるものの組み合わせとして正しいものを、下の  の甲の①~④から1つ選び、番号で答えなさい。

資料Ⅳ	資料Ⅴ
<p>「浅間しや富士より高き米相場 火のふる江戸に砂の降るとは」 (解説)「あさまし」はひどいという意味と浅間山の噴火をかけている。この浅間山の噴火や天明の飢饉がおこったり、またわいろが盛んになり、政治が乱れたため、百姓一揆や打ちこわしが急増した。</p>	<p>「世の中に蚊はどうるさきものはなし ふんぶといふて後もねられず」 (解説) 朱子学を重んじ、湯島聖堂の学問所で旗本や御家人に文武を奨励したことを蚊の羽音にととえて批判した。</p>

説明文

資料Ⅳは、**X** を、資料Ⅴは、**Y** を批判したものである。これらは **Z** とよばれ、当時の人々がどのように政治を見ていたのかを読み取ることができる。

① X : 松平定信の政治	Y : 田沼意次の政治	Z : 狂歌
② X : 松平定信の政治	Y : 田沼意次の政治	Z : 狂言
③ X : 田沼意次の政治	Y : 松平定信の政治	Z : 狂歌
④ X : 田沼意次の政治	Y : 松平定信の政治	Z : 狂言

【正答】③ 【正答率】44% 【誤答選択率】: ①16% ②17% ④22%

○授業改善に向けて

学習指導要領では、歴史的分野の学習において、思考力、判断力、表現力等を身に付けることに関して、「事象を相互に関連付けるなどして、社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現すること」と示されている。

この設問では、江戸時代後期に詠まれた2つの短歌の資料から、この頃の民衆の政治への見方を読み取り、この頃の社会状況と政治改革を関連付けて、社会の変化を考察することをねらいとしたが、政治改革を行った人物や内容と社会状況を関連付けたり、狂歌と狂言の意味を考えたりすることに課題が見られた。

授業改善の手立てとしては、政治改革の内容を、その背景や結果と関連付けて捉えることができるよう、「なぜこの時期にこのような改革が必要になったのか」「改革の結果どのように社会が変化したのか」などの問いを追究する活動を通して、事象を比較・関連付けて考察する学習を積み重ねることが大切である。

## 経年観察およびその考察

### 国語の例

学年	経年変化の視点	趣旨	実施年度			考察
			R2	R3	R4	
第2学年	文章を的確に読み取り、条件を満たして記述する(文学的文章)	思・判・表	R2	R3	R4	文章の内容を捉え、条件に即して記述する設問である。R4で正答率が高まった要因として、登場人物の立場や心情を捉えやすかったことが挙げられる。しかし、正答率は、依然として高いとは言えない。今後は、心情の読み取りはもちろん、表現に関わる語句の意味を的確に捉えるなど、多様な視点から内容を解釈できるよう指導をしていく必要がある。また、物語の展開に即し、叙述を根拠に心情を捉える中で、読み取った内容などをまとめる際は、文や文章として適切かを見直し、検討することもできるようにしていくことが重要である。
			問4(ワ)	問4(エ)	問4(ウ)	
			18%	31%	44%	
	文のつながりの理解(説明的な文章)	思・判・表	R2	R3	R4	抜き出された一文が、文章中のどこに入るかを答える設問である。ここ数年の経年で見ても正答率は50~60%であり、文や段落の働きや、文や段落相互のつながりを捉えることに課題がある。今後は、事実と意見や、文章全体と部分との関係などを読み分けながら、論理の展開や文章全体の内容を捉えることができるよう、接続語や文章表現に注目させること、文中のキーワードや主張の中心となる事柄を意識しながら文章を読むことなどを指導していく必要がある。
問5(イ)			問5(イ)	問5(イ)		
歴史的仮名遣いの理解	知・技	R2	R3	R4	R2は「つかひければ」、R3は「問うていはく」、R4は「あらはす」を現代仮名遣いに直す設問である。過去2年と比べて正答率が高い要因として、「あらわす」という言葉が日常的によく使われていることが考えられる。今後も、歴史的仮名遣いの理解を深めることについて、繰り返し指導する必要がある。また、ICTを活用したり、指導法を工夫したりすることで、古文に対する興味や学習意欲を高めていくことが重要である。	
		問6(イ)	問6(ア)	問6(ウ)		
資料をもとにし、立場を明確にして自分の考えを記述する	思・判・表	R2	R3	R4	R2は「最も親しい人に自分の本音を伝えやすい手段・方法」、R3は「外国人と接する際のコミュニケーションの方法」、R4は「家庭における食品ロス削減の工夫」がテーマである。正答率、無答率もR2・R3と同程度であった。記述力を養うには、日々の学習から「書く」場面を繰り返し設定する必要がある。適切に意見を述べられるようにするために、条件に対して自身の意見を短く端的に表現する、資料と自身の意見の結び付きを整理するなど、ポイントを押さえながら指導する必要がある。また、書いた文章を見直し、推敲することにもしっかり取り組ませることが大切である。	
		問7	問7	問7		
			40%	36%	41%	

### 英語の例

学年	経年変化の視点	趣旨	実施年度			考察
			R2	R3	R4	
第2学年	会話文を聞き、適切に応答する	思・判・表	R2	R3	R4	正答率は14%と低かった。自分の好きなことについて書く問題であったが、like to~, like ~ingの形でいかず、自分がすることの表現に留まるB評価の解答が多く見られた。また、文構造や軽微な綴りの誤りも見られたので、言語活動を繰り返し行う中で、正しい文構造や綴りを定着させたい。
			放4	放4	放4	
			33%	38%	14%	
	動詞を含む文の並べ替え	知・技	R2	R3	R4	今年度は正答率が下がってしまった。道案内の会話で、Shall I ~?とtake ... to ~の表現が定着していなかったためだと考えられる。どちらも基本的なフレーズなので、使う場面を意識し、言語活動の中で繰り返し使用することで、定着を図りたい。
問3c			問3c	問3c		
メールの内容理解	知・技	R2	R3	R4	正答率が3割に留まった。メールを読み、いくつかの提案から条件に合うものを読みとる問題であり、選択肢も本文中の表現が要約されたり、言い換えられたりしたものが出題されたため、正答に結びつかなかったと思われる。情報を正しく読みとる力、英語の表現の幅を広げていくことを身に付けさせたい。	
		問5b	問5b	問5b		
			42%	59%	37%	
会話の流れに合った英文を書く	思・判・表	R2	R3	R4	正答率が低く、また無答も多く、場面や状況に合った英文を書くことに課題が残った。文の構造を定着させるとともに、その場面や状況に合った表現を身に付けさせる必要がある。中間指導を行うことで、生徒のつまづきや疑問に寄り添いながら、書く活動をサポートしたい。	
		問7a,b	問7a,b	問7a,b		
			19%,13%	31%,34%	11%,14%	

◎ 経年観察の問題（数値変化とその要因）（英語）

令和2年度 問7

a. あなたは飛行機に搭乗後、手荷物を置こうとしています。あなたなら目の前にいるキャビンアテンダントに何と質問しますか。  
 ( )に入るふさわしい表現を4語以上で書き、英文を完成させなさい。

Excuse me. ( ) these bags?  
 In the compartment above your seat, please.  
 Thank you.

正答：( Where can I put ) these bags? 正答率 19%、無答率 27%

令和3年度

a. あなたは自宅でナンシーとオンラインで会話しています。次の状況では、あなたならナンシーに何と言いますか。  
 ( )に入るふさわしい表現を3語以上で書き、英文を完成させなさい。

Hi, Nancy. I'm sorry. I couldn't call you this morning.  
 That's OK. You were busy then, right?  
 Right. I was ( ).

正答：I was ( playing the piano ). 正答率 31%、無答率 20%

令和4年度

a. あなたは教室でナンシーと会話をしています。次の状況では、あなたならナンシーに何と言いますか。  
 ( )に入るふさわしい表現を4語以上で書き、英文を完成させなさい。

Nancy, is this yours?  
 Oh, yes. Where did you find it?  
 I ( ).

正答：I ( found it in the music room ). 正答率 11% 無答率 22%

会話の流れに合った英文を書く	思・判・表	R2	R3	R4	正答率が低く、また無答も多く、場面や状況に合った英文を書くことに課題が残った。文の構造を定着させるとともに、その場面や状況に合った表現を身に付けさせる必要がある。中間指導を行うことで、生徒のつまずきや疑問に寄り添いながら、書く活動をサポートしたい。
		問7a,b	問7a,b	問7a,b	
		19%、13%	31%、34%	11%、14%	

○数値変化とその要因

会話の流れにふさわしい英文を書く問題については、正答率は低く、また無答率も高くなっている。

令和2年度は、「機内で荷物を置く場所を尋ねる」、令和3年度は「過去にしていたことを伝える」、令和4年は「落とし物を見つけた場所を伝える」表現を書く問題を出題した。  
英語でコミュニケーションする際の目的・場面・状況に応じて「何を話すとよいか」と「それを英語でどのように表現するか」を思考、判断、表現することに課題がある。

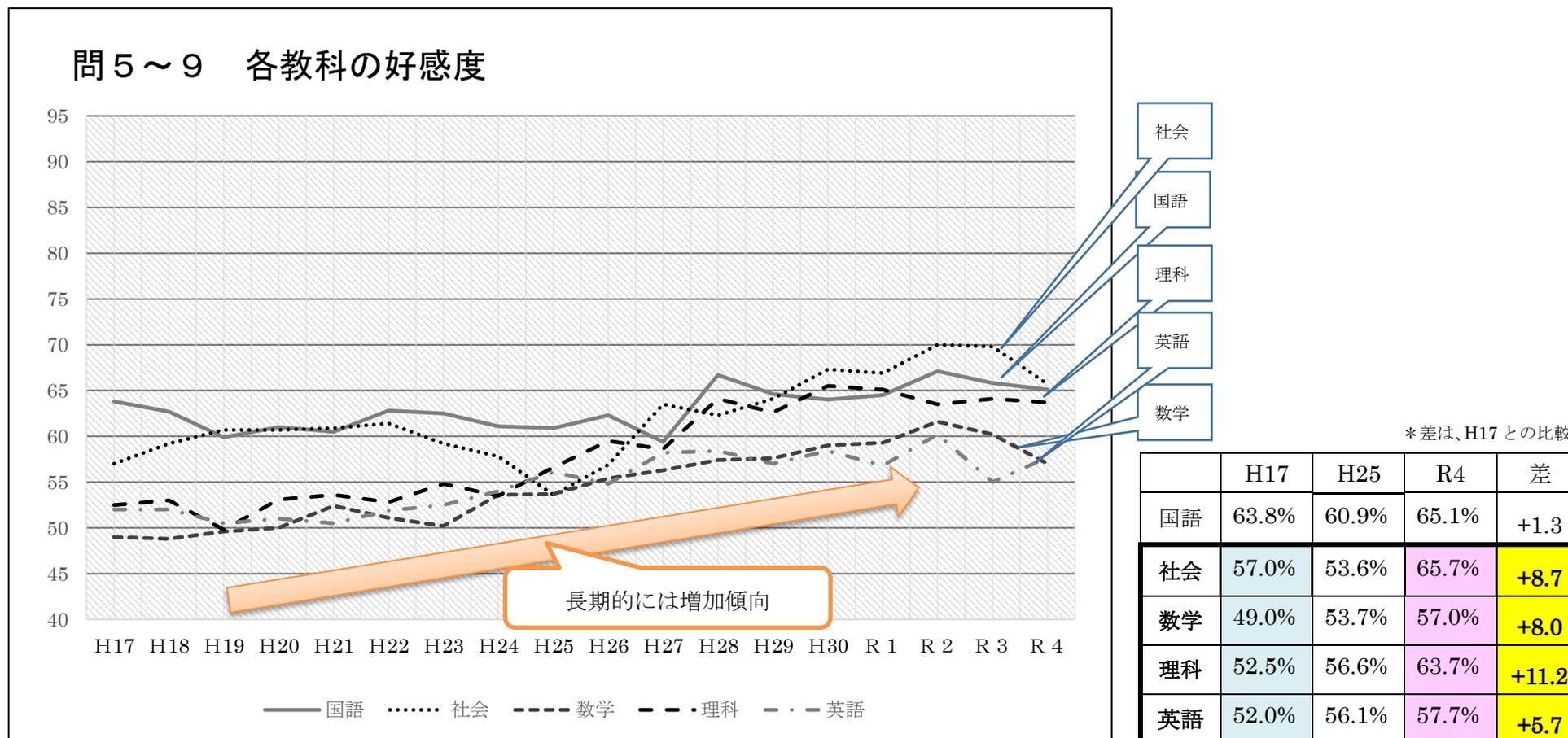
各学校での言語活動への取組により、無答率については改善傾向にあるが、引き続きALT（外国語指導助手）などの活用により、既習の表現も使いながら実際に英語でコミュニケーションする目的・場面・状況が明確に設定された言語活動を繰り返し行うなどのさらなる授業改善を行っていく必要がある。

### Ⅲ 生活や学習についてのアンケート

長期的な視点での比較

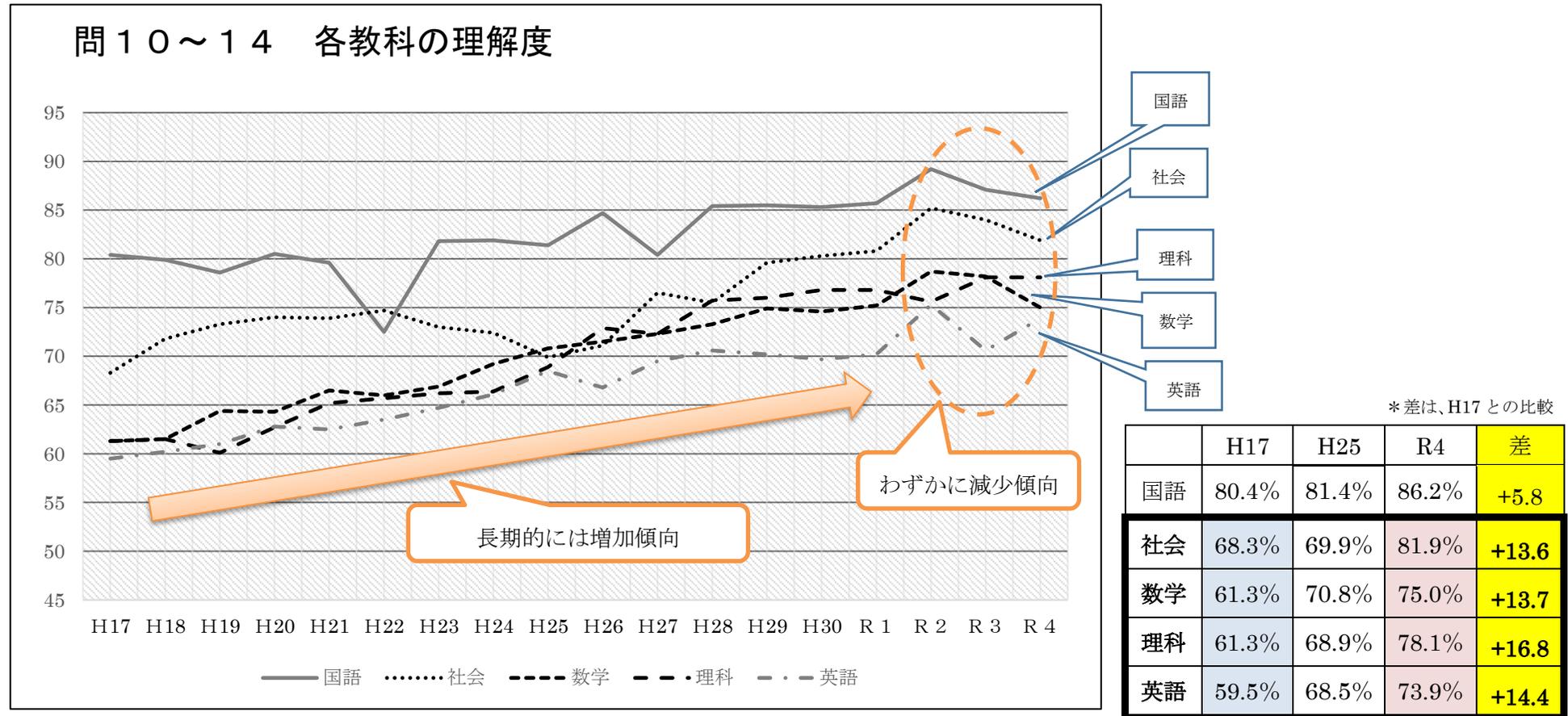
#### 各教科等に関する意識

問5～9 各教科の学習は好きですか。好感度 (報告書P112 参照)



各教科等に関する意識

問10～14 各教科の授業はよくわかりますか。理解度 (報告書P113 参照)

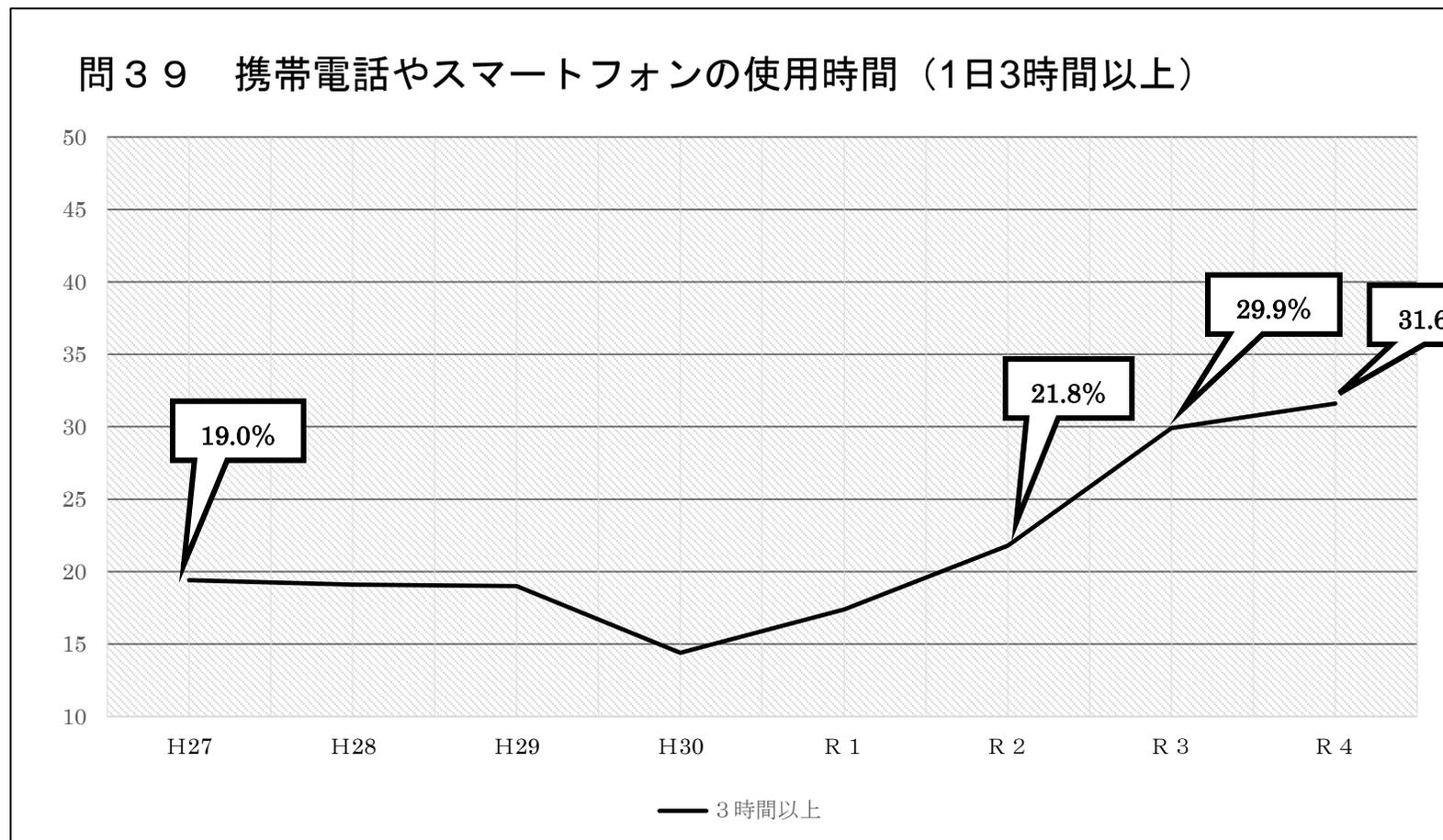


## 家庭生活の実態

長期的な視点での比較

### 携帯電話やスマートフォンの使用時間 (報告書P119 参照)

問39 学校がある日(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォン等で通話やメール、インターネット(SNSなども含む)をしますか。(携帯電話やスマートフォン等を使ってゲームをする時間はのぞく)

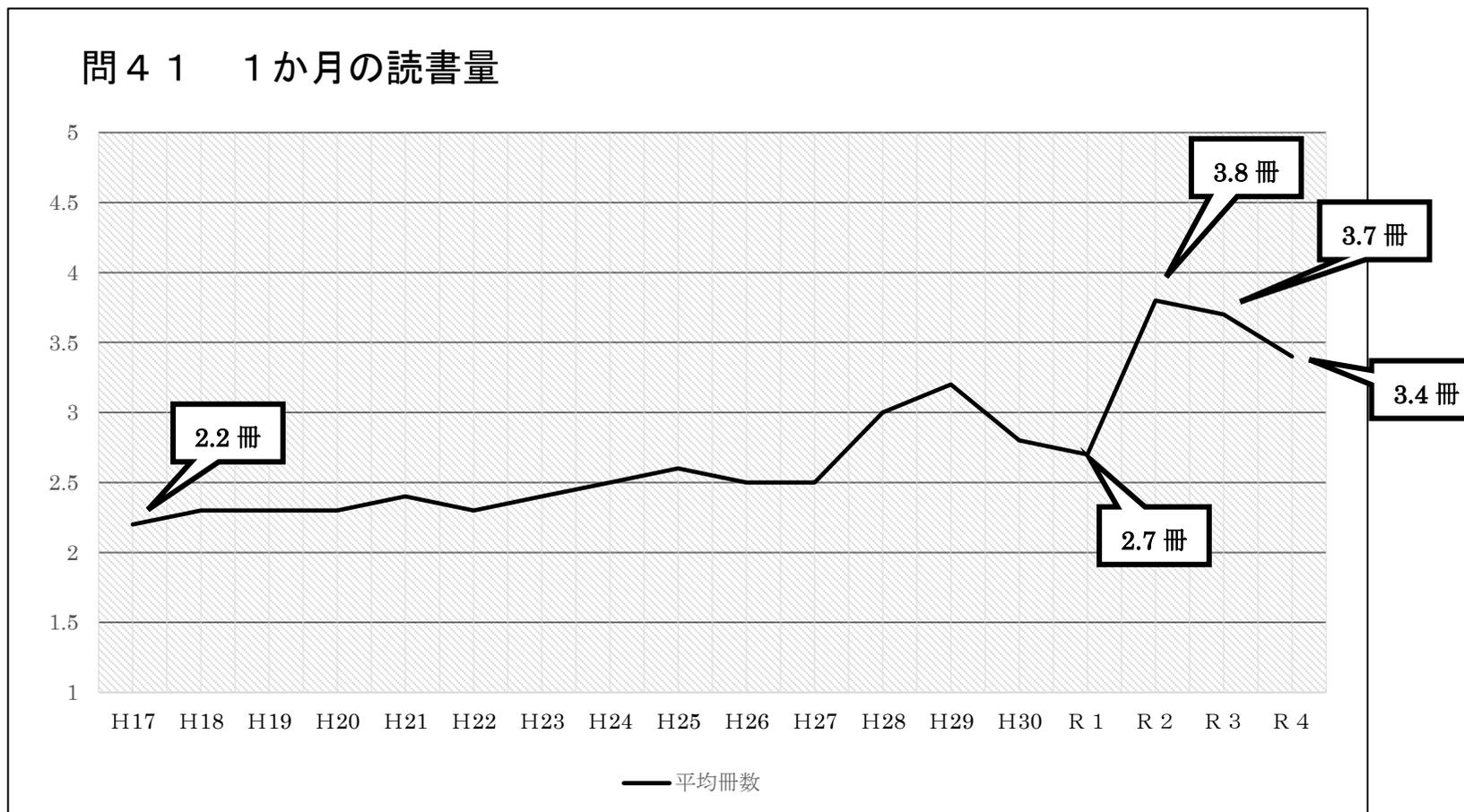


## 家庭生活の実態

長期的な視点での比較

### 1ヶ月の読書量 (報告書P120 参照)

問4 1 月に何冊ぐらいの本(マンガ・雑誌をのぞく)を読みますか。



## 自己肯定感・将来に関する意識等

問44 自分には、よいところがあると思いますか。(報告書P122 参照)

	中2時	小5時	差
R4の中2の集団(現中2)	75.1%	81.2% (R1)	-6.1
R3の中2の集団(現中3)	72.6%	81.4% (H30)	-8.8
R2の中2の集団(現高1)	72.6%	80.4% (H29)	-7.8
R1の中2の集団(現高2)	72.4%	79.2% (H28)	-6.8

どの集団も、中2と小5を比較すると減少しているが、どの時点で減少するのか詳細はわからない。

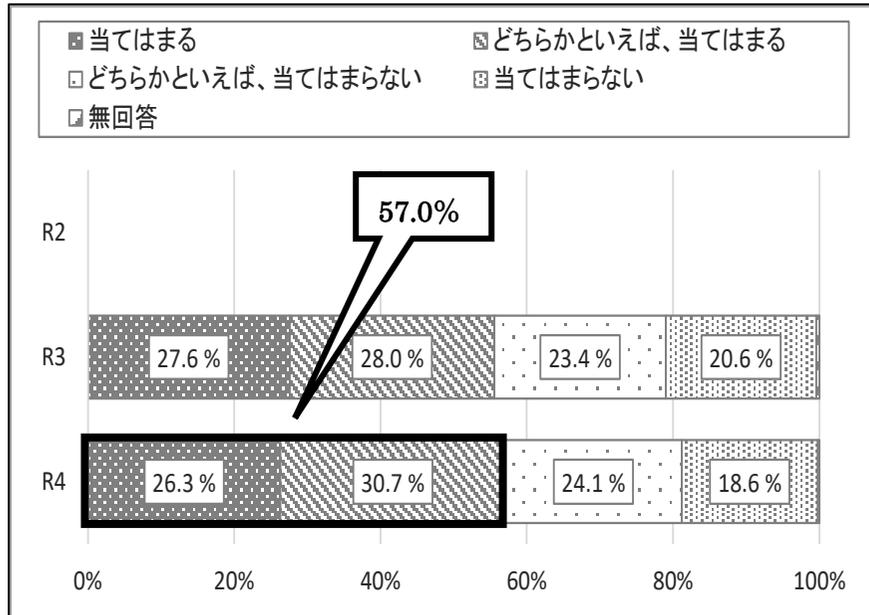
問45 将来の夢や目標を持っていますか。(報告書P122 参照)

	中2時	小5時	差
R4の中2の集団(現中2)	64.5%	87.6% (R1)	-23.1
R3の中2の集団(現中3)	64.1%	87.2% (H30)	-23.1
R2の中2の集団(現高1)	66%	88.9% (H29)	-22.9
R1の中2の集団(現高2)	66.8%	87.7% (H28)	-20.9

### GIGA 端末の活用に関する実態

(報告書 P 128 参照)

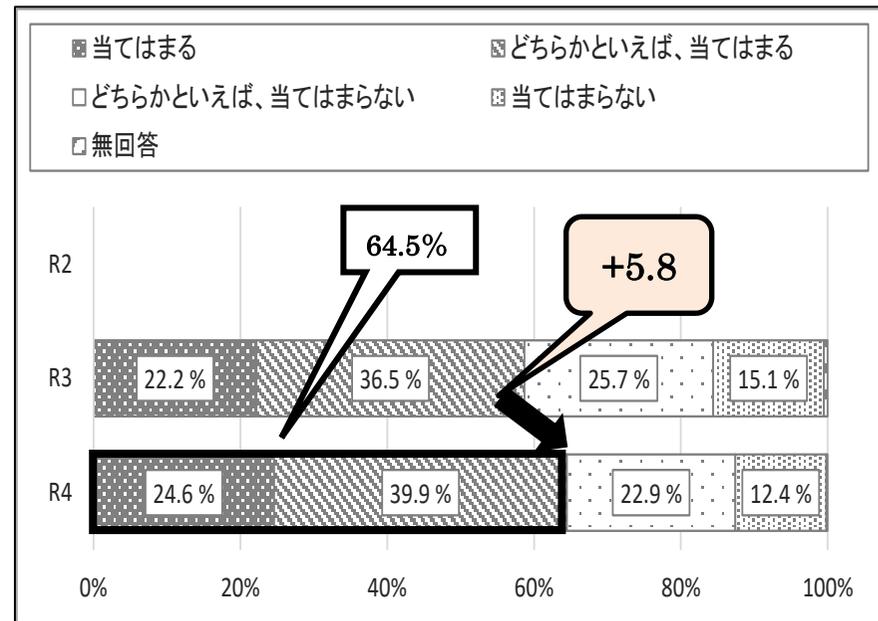
問 7 0 先生に指示されたときだけでなく自分から進んで GIGA 端末を活用していますか。



「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合は 57.0%である。令和 3 年度と比較して、1.4 ポイント増加した。

(報告書 P 129 参照)

問 7 1 GIGA 端末を活用することで、学習を見通したり振り返ったり、話し合い、自分の考えを深めることができますか。



「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合は 64.5%である。令和 3 年度と比較して、5.8 ポイント増加した。

◎ 調査結果の活用

1. 個人票

川崎市立中学校  
学習状況調査 個人成績表

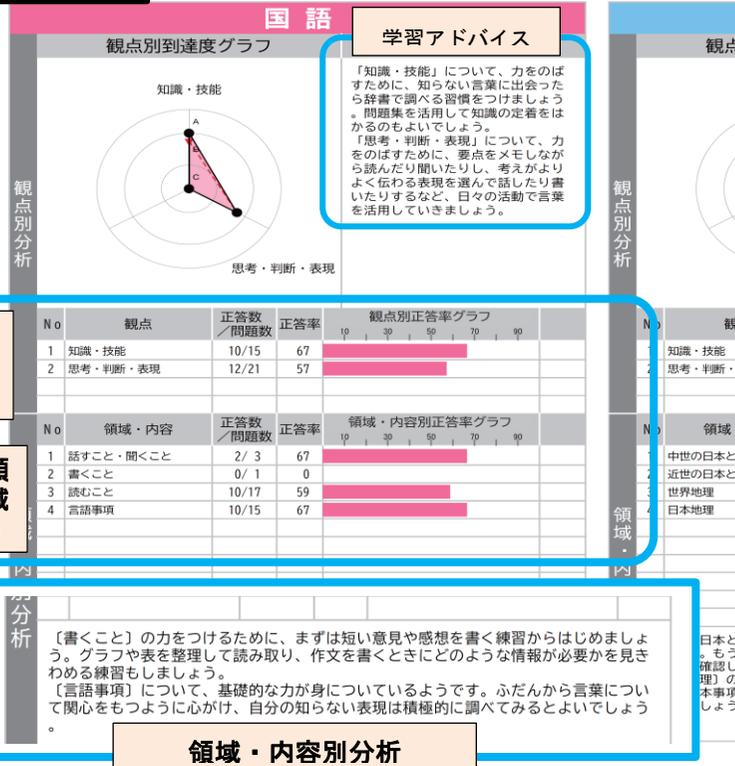
108号 川崎市学習診断テスト中2  
中学2年 2022年11月8日実施

1413001  
中学校  
2年 1組 1番

■今回の成績

教科	あなたの正答率
国語	61
社会	47
数学	65
理科	33
英語	67
全教科平均	55

■教科別分析



■意識別調査

各設問に対して、川崎市全体の回答の割合を%で示しています。あなたは黄色い回答を選びました

国語		質問No.52, 53, 54	
わからない言葉があるときは、国語辞典（電子辞書を含みます）を使いますか。	国語の授業で、文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいますか。	国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝えるように理由を示したりするなど話の組み立てや表し方を工夫していますか。	
よく使う	18.9	している	23.6
どちらかといえば、よく使う	28.0	どちらかといえば、している	39.8
どちらかといえば、あまり使わない	26.5	どちらかといえば、していない	24.5
あまり使わない	26.4	していない	18.7
無回答	0.2	無回答	7.2

各設問に対して、川崎市全体の回答の割合を%で表しています。本人の回答したところは色付きになっています。

■解答分析

■ 全市正答率、●：あなたの正答率、○：正解、●：誤答、数字：部分得点

大問	小問	領域	設問内容	正答率グラフ	全市正答率 (%)	正誤	大問	小問	領域	設問内容	正答率グラフ	全市正答率 (%)	正誤
1	1	1	11	4	63	●	1	11	4	「購入」の読み	99	○	
2	1	1	12	4	30	●	1	12	4	「多忙」の読み	82	○	
2	2	1	13	4	88	○	1	13	4	「秩序」の読み	80	○	
2	3	1	14	4	72	○	1	14	4	「読む」の読み	95	○	
2	2	2	15	4	36	○	1	15	4	「歩く」の読み	57	●	
7	1	2	21	4	36	●	1	21	4	「混雑」の書き取り	73	○	
3	3	3	22	4	55	●	1	22	4	「利益」の書き取り	58	○	
3	1	3	23	4	67	○	1	23	4	「賃貸」の書き取り	14	●	
3	3	3	24	4	69	●	1	24	4	「聞く」の書き取り	63	○	
4	1	3	25	4	73	○	1	25	4	「訪れる」の書き取り	55	○	
4	2	3	3	4	57	○	1	3	4	単語	46	●	
4	3	3	4	4	83	○	1	4	4	修飾・被修飾の関係	58	●	
4	4	3	5	4	31	●	1	5	4	対義語	74	○	

個人票は、教育相談などの機会を利用して返却し、一人一人の生徒が学習に取り組む態度、学習状況や学習課題の把握、そして家庭学習の在り方を改善することに活用しています。

また、学校や教員が一人一人の生徒の学習状況を的確に把握することにより、指導方法を含めた授業改善や個に応じた指導、教育課程の検証・改善を図ることに活用しています。

## 2. フォローアップシート

### 生徒ごとの課題に応じた問題例

### 【参考】国語・・・説明的な文章の読み取り

#### 内容の理解、把握について定着を図る問題

● 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

「暗黙の了解」という言葉ほど日本人にとって馴染み深いものはないだろう。こうした感覚は、時にそれなりの効果を持つこともあり、いちがいに否定するつもりはさらさらでない。

しかし、お互いに共感し合うためには、各人がてんでにばらばらなことを考えたり行動したりしてしまつたのでは、いかに日本人といえども理解することはできない。ここに、各人の考えや行動を規定する枠組みが社会規範として登場する。社会規範としての枠組みがある程度はつきりしていれば、そこを出ない限り、お互いが理解し合うことが容易となる。

日本人の行動が画一的であると評されるのも、こんな背景があるのかもしれない。こうなると、一人一人の個性が尊重されるよりも全体の統一が重視されることになる。一人ではできないことでも、みんながやっていたら安心して行動することも可能となる。「赤信号、みんなで渡れば怖くない」などは、まさに日本的な感覚といえるだろう。

こうした日本の精神的風土にあって、「自分らしさ」を演出することは、時に非常に困難になってくる。社会規範が生み出す社会通念に従つて、「自分らしさ」をできるだけ抑え、みんなと一緒に行動していたほうが無難であるという考えをなかなか拭い去れない。

しかし、社会通念というものを、決して固定的で絶対的なものではない。社会通念としてみんなが同調してたと思っていたものでも、いつのまにか変化してしまうこともある。そうすると、自分だけが取り残されてしまいかねない。「男らしさ」や「女らしさ」といった社会通念は、まさにその典型かもしれない。いつまでも過去の幻想にしがみついていると、とんでもないしつべ返しに出会わないとも限らないのである。

さらに、個人の寿命が、過去に比べて比較できないほど延びたこと

も考えておかねばなるまい。社会的な地位と役割が与えられ、その役割を演じ続けていられるうちはまだしも、定年後の人生をどういうに生きるかといった問題が今日深刻になってきた。「らしさ」という外枠によってひたすら自分を規定し続けてきた人は、それをどのように歩んでいったらよいのだろうか。親という役割に固執し続けて自分の存在価値を求めてきた人は、子どもが自立し独立した人生をどのように価値づけることができるのだろうか。こうした問題に対処するためにも、それぞれの役割が与えられているうちに、外枠によらない「自分らしさ」を考えておく必要があるだろう。

〔福富 護「らしさ」の心理学〕による

- (1) 線①「そうなる」を、文脈に沿って具体的に言いかえようとするか。文章中の言葉を用いて、十二字で書きなさい。
- (2) 線②「しつべ返しに出会わないとも限らない」と同様に述べている部分を同じ段落の中から二十字以内で探し、の五字を書きぬきなさい。
- (3) 文章の主旨として適当なものを次から選び、記号で答えなさい。
  - ア 社会通念のとおり自分らしさを発揮することが最良のといえる。
  - イ 社会通念にこだわらず自分らしさを求めることが人生を豊かにする。
  - ウ 社会通念を打破する過程が最も自分らしさを表現できるといえる。
  - エ 社会通念を重視した自分らしさの創造こそが安定した人生を保障する。

#### 内容の理解、把握について課題を補充する問題

● 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

「暗黙の了解」という言葉ほど日本人にとって馴染み深いものはないだろう。こうした感覚は、時にそれなりの効果を持つこともあり、いちがいに否定するつもりはさらさらでない。

しかし、お互いに共感し合うためには、各人がてんでにばらばらなことを考えたり行動したりしてしまつたのでは、いかに日本人といえども理解することはできない。ここに、各人の考えや行動を規定する枠組みが社会規範として登場する。社会規範としての枠組みがある程度はつきりしていれば、そこを出ない限り、お互いが理解し合うことが容易となる。

日本人の行動が画一的であると評されるのも、こんな背景があるのかもしれない。こうなると、一人一人の個性が尊重されるよりも全体の統一が重視されることになる。一人ではできないことでも、みんながやっていたら安心して行動することも可能となる。「赤信号、みんなで渡れば怖くない」などは、まさに日本的な感覚といえるだろう。

こうした日本の精神的風土にあって、「自分らしさ」を演出することは、時に非常に困難になってくる。社会規範が生み出す社会通念に従つて、「自分らしさ」をできるだけ抑え、みんなと一緒に行動していたほうが無難であるという考えをなかなか拭い去れない。

しかし、社会通念というものを、決して固定的で絶対的なものではない。社会通念としてみんなが同調してたと思っていたものでも、いつのまにか変化してしまうこともある。そうすると、自分だけが取り残されてしまいかねない。「男らしさ」や「女らしさ」といった社会通念は、まさにその典型かもしれない。いつまでも過去の幻想にしがみついていると、とんでもないしつべ返しに出会わないとも限らないのである。

さらに、個人の寿命が、過去に比べて比較できないほど延びたことも考えておかねばなるまい。社会的な地位と役割が与えられ、その役

割を演じ続けていられるうちはまだしも、定年後の人生をどうに生きるかといった問題が今日深刻になってきた。「らしさ」という外枠によってひたすら自分を規定し続けてきた人は、それをどのように歩んでいったらよいのだろうか。親という役割に固執し自分の存在価値を求めてきた人は、子どもが自立し独立した人生をどのように価値づけることができるのだろうか。こうした問題に対処するためにも、それぞれの役割が与えられているうちに、外枠によらない「自分らしさ」を考えておく必要があるだろう。

〔福富 護「らしさ」の心理学〕による

- (1) 線①「そこ」が指しているものを、文章中から書きなさい。
- (2) 線②「そうなる」を、文脈に沿って具体的に言いかえようとするか。文章中の言葉を用いて、十二字で書きなさい。
- (3) 線③「しつべ返しに出会わないとも限らない」と同様に述べられている部分を同じ段落の中から二十字以内で探し、の五字を書きぬきなさい。

「フォローアップシート」では、生徒の学習状況に応じてフォローアップ問題を提供し、生徒の課題を改善できるようにしている。

生徒ごとの課題に応じて、定着を図る問題と課題を補充する問題の2つのパターンを提供している。